

行政改革推進委員会（第1回）における主な意見と意見に対する考え方

1 行政評価に係る外部評価について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
1	■事業を実施することに必死になっていて、実施したことで施策の目指す姿に近づいたかどうかというところの評価が感じられない。達成度指標の目標値だけを見て、達成出来た・出来なかったとするのではなく、改善できた部分や、足りないと感じたところを書くことが自己評価につながると思う。この評価では、何がどう変わったかというところが抜けているし、現状をどのように受け止めているのか分からない。	■頂いたご意見を踏まえて、指標だけでは捕捉できない施策への寄与の状況等にも留意した評価に努めていく。【企画政策課（全庁）】
2	■事務事業評価のところ、活動指標の目標値の半分しか施行していないにも関わらず、予算のほとんどを使っている事業については、その理由などを記述した上で、今後の方向性につなげていくと良いのではないかと。	■活動指標の実績値と決算額（執行率）が伴っていない事務事業については、頂いたご意見を踏まえて、理由や背景を出来る限り記載するなど、分かりやすい評価シートの作成に努めていく。【企画政策課（全庁）】
3	■どの分野においても、市全体で横断的に取り組むことで、お互いにもっとスムーズに進むことがあると思う。評価についても、今は1つの課が単独で評価をしているが、事業に関連する課同士で互いに評価し合ったり、一緒に評価したりするなど、別の視点のやり方があると良いのではないかと。	■これまでも、より事業効果を高める観点から、分野に関わらず、関連する部課等で連携を図りながら取組及び評価を進めてきたところではあるが、引き続き、横断的な事業展開に努めるとともに、複数課が共同で実施している事務事業等があれば、ご意見を頂いた点に留意しつつ、書き方を工夫しながら評価を実施していく。【企画政策課（全庁）】
4	■清須市も独自で色々なことを始めているので、他に取れそうな指標がないかということ、随時検討していただきたい。	■指標等については、引き続き、外部評価におけるご意見等を踏まえながら、適宜見直しを行っていく。【企画政策課（全庁）】

2 「施策 701 市民参加・市民協働の推進」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
5	■今までのような交流や集まって何かをやることについては、新型コロナウイルスの影響で、やり方を変えていかなければならないということを考える際に、オンラインの活用も含め、新しい生活様式やニューノーマルといった観点などを今後の方向性に取り入れると良いのではないかと。	■市民協働に係る取組におけるオンラインの活用については、その活用方法や必要性等も含め、各市民団体の活動状況や意見を踏まえながら、今後開催予定の企画運営ミーティング（※）の中で検討を進めていく。【企画政策課】 ※ 市民協働テラスの内容や実施方法等を、市民と協働して検討する場。
6	■市民協働テラスの開催にあたっては、つながりが広がるようなコーディネートをしてもらえると、より皆が集まることが出来るし、こうした方が良いのではないかとという意見や考え方も出てくると思うので、良い方法を考えていただきたい。	■頂いたご意見を踏まえて、今年度からは、市民協働テラス及び企画運営ミーティングの運営や、市職員を対象とした研修、市民協働に係る情報の集約・一元化のための庁内調査等に一体性を持たせながら、それぞれの取組がつながるような形で事業を展開していく。【企画政策課】
7	■全ての施策を同じ形で評価するため難しいかもしれないが、この評価だけを見ると、市民協働テラスを開催することに意義を持たせているように感じるので、例えば、参加者の数や年齢層、参加回数といった情報を活用して次回開催方法を検討し、それが実行できたかどうかという評価をするなど、より良い活動や取組が出来るような新しい評価を加えると良いのではないかと。	■No.1の意見と共通する部分であり、今後のより良い施策の展開につなげていくための評価である点に鑑みて、より適切な指標や書き方があれば、適宜見直しを行うとともに、取組結果に対してより具体的な自己評価に努めていく。【企画政策課】

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
8	■特定の人だけでなく、もっと色々な人を委員会や事業に参加させる方法を考えていただきたい。	■市民参加・市民協働においては、市民や企業等に幅広く呼び掛けを行っているところだが、中々集まらず、一部で参加者が固定化していることは認識している。一方で、市民活動等について問い合わせや要望を受けることも多く、関心を持っている方も一定数いらっしゃるほか、新たな層の方に参加していただくことは、裾野を広げることにもつながるため、引き続き、人材の掘り起こしに努めるとともに、より効果的な情報発信の方法を検討する。【企画政策課】
9	■市民協働がしっかり動き出したら、市民協働係は全部のまとめ役のような位置付けになると思うので、関係ない話だからと切り捨てず、市民協働テラスなどで色々と受け入れ、仕分けや種別をして対応していただきたい。	■関係各課と連携を図りながら、市民協働テラスを通じて行政と市民等の情報共有を行うとともに、市民団体との関係構築に努めつつ、市民協働テラスがより開かれた場となるよう検討を進めるなど、市民協働を発展的に展開するための推進体制の強化に取り組んでいく。【企画政策課】

3 「施策 605 国際交流の振興」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
10	■国際交流として何をやっているか分からないという声もあるが、今の形では限界があると思う。今後は、外国人住民も増加していくので、外国人の方に対して何かをやっていくという方が、最終的に市民と外国人の交流になっていくのではないかと感じる。	■本市における在住外国人数は、近年、一貫して増加しており、社会経済情勢の変化等に伴って、今後もその傾向が続くことが予想される中、多文化共生を推進する必要性がより一層高まっていることから、類似団体の取組状況調査などにより、本市における課題や今後取り組むべき点を把握した上で、関係各課と連携を図りながら検討を進めていく。【生涯学習課】
11	■外国人住民に対する日常生活のサポート体制については、国際交流ではなく、市民サービスの充実として取り組むべきだと感じる。	
12	■外国人住民に対する支援として、災害時の安全対策やマニュアルの作成、情報提供の方法などについても考慮していただきたい。	

4 「施策 406 ごみの減量化と資源化の推進」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
13	■ごみ分別アプリの多言語化対応にあたっては、国際交流協会や団体と協力して取り組むことができると、市と協会の両方が良くなっていくと思うので、進めていただきたい。	■ごみ分別アプリの多言語化に向けては、市国際交流協会や関係団体と情報共有を行い、ニーズの高い言語や項目等を把握しながら検討を進めていく。【生活環境課】
14	■達成度指標のリサイクル率に関しては、市としてきちんと取り組んでいるものの、民間事業者が常設する資源回収ステーションが増加し、市で把握するリサイクル率が低下しているということなので、違った切り口で取り組むということを含めて、評価方法を見直すなど整理をすると良いと思う。	■現在、インクカートリッジの窓口回収や小型家電の宅配回収等の、民間業者と提携した再資源化について検討を進めるなど、市全体の環境に配慮したリサイクル率に反映されない取組についても推進を図っていることから、頂いたご意見を踏まえて、これらの取組状況や結果等も含めた評価を実施する。【生活環境課】
15	■市でイベントなどを実施する時は、生活環境課とイベント担当課で連携しながら、ごみを少なくするような取組を考えていただきたい。	■市主催のイベントにおいては、「ごみ減量化等推進委員会」等の団体員とともに、市民に対して、ごみ減量に関するPR活動を継続して行っているところではあるが、引き続き、活動の場を広げながら啓発していくとともに、関係各課と連携を図りながら、ごみ排出量の削減に努めていく。【生活環境課】

5 「施策 403 上水道の安定供給・下水道の充実」について

No.	委員会での意見	意見に対する考え方【関係所管課】
16	<p>■下水道整備については、市民満足度調査の回答理由にもあるように、自分の家の周りはどうなっているのか、いつ完成するのかということが分からないし、この評価でも分からない。これから完成させなければならない話なので、年度ごとの施工量の評価ではなく、全体としてどうだったかというところを見ていただきたい。</p>	<p>■汚水管渠整備費の事務事業評価においては、頂いたご意見を踏まえて、全体計画で定める計画処理面積のうち、整備済み面積の割合（進捗率）を活動指標として追加し、実績値及び達成状況を踏まえた評価を実施する。</p> <p>また、概ね5年ごとに、あらかじめ整備する地区・工事の期間等を定める事業計画については、引き続き、縦覧に供するほか、市ホームページや広報を通じて周知に努めていく。【上下水道課】</p>